

事務事業マネジメントシート(平成25年度実績と平成26年度計画)

平成26年 5月23日 更新

事務事業名		健康づくり推進協議会運営事業					マニフェスト 関連		全庁横断 課題関連		集中改革 プラン関連			
総合	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり					所属部	健康福祉部		課長名	財津 公正		
計画	施策	15	健康づくりの推進					所属課	健康づくり推進課		担当者名	坂井 晴代		
体系	基本事業	43	病気にならない生活習慣の確立					所属班	健康推進班		(内線)	2162		
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令 根拠						成果優先度評価結果 : (12) コスト削減優先度評価結果 : (6)		
終了・開始年度		一般	4	1	4	11604						単年度のみ	単年度繰返 (開始年度 25 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述）

【事業の内容】	健康都市こうしを実現させるため健康づくり推進協議会を設置し、健康増進計画の推進、施策実施の進捗状況や効果の検証、委員が所属する団体や職域に施策の浸透を図っていく。また、健康づくり推進条例（仮称）の素案検討を行なっていく。
【業務の流れ】	①健康づくり推進協議会設置要綱の作成 ②委員の選定（市民代表を含む） ③委員の委嘱 ④健康づくり推進協議会の運営 ⑤会議録の公表 ⑥報償費・費用弁償の支払い
【主な予算費目】	8 報償費 委員謝礼 委員長3,800円×1人×5回 委員3,700円×8人×5回 9 旅費 費用弁償 2,200円×9人×5回
【意見や要望】	特に意見や要望はない

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
①手段(主な活動) 25年度実績(25年度に行った主な活動) (DO)	26年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
健康増進計画策定にむけた審議を行った。	健康づくり推進協議会を設置し、各種団体や市民を巻き込んで健康づくりの施策について検討を行なっていく。 年に3回の会議を行なう。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	予算の主な増減の理由
ア 会議の開催回数	(単位)回 会議回数を5回から3回にしたことによる報償費の減。
イ	
②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)人
ア 市民の数(人口)	
イ	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)%
ア 健康に関する関心が高く、食生活の適正化や運動の習慣の定着により、生活習慣病にならない生活を送ることができる。	④成果指標(意図の達成度を表す指標)
イ	ア 栄養のバランスを考えて食事を摂っている %
⑤成果指標設定の理由と26年度目標値設定の根拠	イ 病気の予防のため運動をしている市民 %
健康の保持増進に大きく寄与するものが「食生活」と「運動」であるため。合志市総合計画第2期基本計画に基づき設定した。（毎年行われている市民アンケート）	総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移			単位	実績(決算)	24年度実績(決算)	25年度目標(当初予算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	27年度予定	28年度見込	29年度見込
① 活動指標	ア 回	イ			0	5	5	3	3	3	3
② 対象指標	ア 人	イ			0	57,337	53,237	58,785	59,333	59,881	60,429
③ 成果指標	ア %	イ %			0	84	0	87	87	87	87
					0	43	0	47	47	50	50
投	事	業	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 繰入金 一般財源	千円							
入	費	量	(A) 事業費計	千円		0	204	207	167	167	167
			(A)のうち指定経費	千円		0	0	0	0	0	0
			(A)のうち時間外、特勤	千円		0	0	0	0	0	0
	人	件	正規職員従事人数	人		0	0	3	0	0	0
			延べ業務時間	時間		0	0	520	0	0	0
	費		(B)人件費計	千円		0	0	2,071	0	0	0
			トータルコスト(A)+(B)	千円		0	204	2,278	0	167	167

事務事業名	健康づくり推進協議会運営事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	----------------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部 (S E E)

*原則は25年度の事後評価、ただし複数年度事業は25年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①25年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因是？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 協議会を5回行い、委員からも意見を聴取でき健康増進計画を立案できたため。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因 ↳】
	②26年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由 ↳】 健康増進計画の推進、健康づくり推進条例（仮称）の検討を行う。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策 ↳】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由 ↳】 協議会での検討状況により、事業に広がりを見せる可能性があるため。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由 ↳】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由 ↳】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由 ↳】 類似事業がないため、統廃合は難しい。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由 ↳】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由 ↳】 最低限の事業費で対応しているため。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由 ↳】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由 ↳】 最低限の事業費で対応しているため。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由 ↳】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由 ↳】 費用負担などないため公平・公正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由 ↳】
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由 ↳】 行政として市が取り組むべきことであるので、役割分担は適正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由 ↳】

3 評価結果の総括（S E E）※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

協議会を密に行うことでの、健康増進計画も立案でき、一定の成果が見られた。今年度より実施に向けての具体的な施策を検討し、あることで、より具体的に健康づくりを行うことができる。

4 今後の方針性（事務事業担当課案）（P L A N）

- (1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善（有効性改善）
事業のやり方改善（効率性改善） 事業のやり方改善（公平性改善）
現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

(廃止・休止の場合は記入不要)		
成果	コスト	
	削減	維持
	向上	
	維持	○
低下		

- (3) 改革 改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策